職業実践専門課程等の基本情報について

 専門学校大 [*]		設	置認可年月	日	交長名			所在地							
· 导门子仪人	育	平	成5年3月1	日日石	川正一	〒 902-0066 (住所) 沖縄県那覇市大道88番地5 (電話) 098-885-5330									
設置者名	名 設立認可年月日 代表者名 〒 902-0066														
学校法人石川!	学園	平月	成2年2月28	3日 石	川正剛	(住所)	中縄県那覇市大道88	『覇市大道88番地5							
 分野		 認定課程名	ረ	 認定学科	l名)98-885-5330]士認定年度 【	専門課程認定年度							
衛生		生専門課	-	調理本利			19(2007)年度	高度専門士認定 -		28(2016)年度					
177.2	177	, <u> </u>	12	#/d2=21-1	1-1	1 /20	10(2007) 12		1 72	10(10:0) 12					
学科の目的	就職に必要な実践的かつ専門的な能力を養成することを目的として、衛生分野における実務に関する知識、技術及び技能について組織的な教育を行っていくこる。														
学科の特徴(取得 可能な資格、中退 率 等)	調理師・食育インストラクター・技術考査等														
修業年限	昼夜	全課程の	修了に必要 単位	な総授業時数又は総 立数	講	美	演習	実習	実験	実技					
2	上上	※単位時間、 かに記入	単位いずれ	1,750 単位時間 単位	770	単位時間単位	35 単位時間	910 単位時間 単位	35 単位時間	0 単位時間					
生徒総定員		L E員(A)	留学生	数 (生徒実員の内数)(B)	留学生割		中退率		<u> </u>	· -					
78 人	8			3 人	0	%	20 %								
	■卒業者		:	5		人									
	■就職希望	望者数(D)		5		人									
	■就職者	数(E) 職者数(F)	:	4		人									
	■地元別□■就職率		1	80		<u>人</u> %									
			元就職者の	割合(F/E)											
	■☆坐老□	ー上歩っ☆▽	強者の割る	(E/C)		%									
	■午耒有(、	- 口のの肌肌	職者の割合	(E/G) 80		%									
就職等の状況	■進学者			0		人									
17(17(c) c) vol-nv(17(■その他														
	(令和	6	年度卒業者	に関する令和 7 年5月	11日時点の情報	報)									
	■主な就耶	職先、業界	等												
	(令和6年度														
	県内ホテノ	レ、レストラ	ラン												
	■民間の	〒/ボ #終 BB 5	等から第三	老 亚体:			無								
ダーター トス			テから第二 ^を 下について任意				***								
第三者による 学校評価							=	亚年は用る提出した							
) 1×11 mm	İ	評価団体:			受審年月:			平価結果を掲載した トームページURL							
 当該学科の															
	https://w	ww.daiiku.a	ac.jp/cook/												
URL															
	(A:単位	は時間による	る算定)												
		総授業時数	 ≸∕T												
		1,001,2,7,7,3							1 750 単位時間						
			スナ 小学学	に 連携した 宝殿・宝	羽・宝せの揺	学吐米			1,750 単位時間						
				と連携した実験・実		集時数			910 単位時間						
			うち企業等	と連携した演習の授		業時数			910 単位時間						
				と連携した演習の授		業時数			910 単位時間						
			うち企業等	と連携した演習の授	業時数		の授業時数		910 単位時間						
			うち企業等	と連携した演習の授業時数	業時数 た必修の実験・	・実習・実技	の授業時数		910 単位時間 0 単位時間 1,750 単位時間						
A 446 666 1 3 - 146 1			うち企業等	と連携した演習の授業時数 うち企業等と連携し	業時数 た必修の実験・ た必修の演習の	・実習・実技 D授業時数	の授業時数		910 単位時間 0 単位時間 1,750 単位時間 910 単位時間						
企業等と連携した実習等の実施状況			うち企業等	と連携した演習の授業時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し	業時数 た必修の実験・ た必修の演習の	・実習・実技 D授業時数	の授業時数		910 単位時間 0 単位時間 1,750 単位時間 910 単位時間 0 単位時間						
企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれか		- ***- L - 7 ^	うち企業等うち必修授	と連携した演習の授業時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し	業時数 た必修の実験・ た必修の演習の	・実習・実技 D授業時数	の授業時数		910 単位時間 0 単位時間 1,750 単位時間 910 単位時間 0 単位時間						
実習等の実施状況	(B:単位	数による質	うち企業等うち必修授	と連携した演習の授業時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し	業時数 た必修の実験・ た必修の演習の	・実習・実技 D授業時数	の授業時数		910 単位時間 0 単位時間 1,750 単位時間 910 単位時間 0 単位時間 60 単位時間						
実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(B:単位	数による第総単位数	うち企業等うち必修授	と連携した演習の授業時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し うち企業等と連携し 等と連携したインタ	業時数 た必修の実験・ た必修の演習の	・実習・実技 D授業時数 受業時数)	の授業時数		910 単位時間 0 単位時間 1,750 単位時間 910 単位時間 0 単位時間 60 単位時間 60 単位時間						
実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(B:単位		うち企業等うち必修授	と連携した演習の授業時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し	業時数 た必修の実験・ た必修の演習の	・実習・実技 D授業時数 受業時数)	の授業時数		910 単位時間 0 単位時間 1,750 単位時間 910 単位時間 0 単位時間 60 単位時間						
実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(B:単位		うち企業等うち必修授	と連携した演習の授業時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し うち企業等と連携し 等と連携したインタ	業時数 た必修の実験・ た必修の演習の ーンシップの打	・実習・実技 D授業時数 受業時数)	の授業時数		910 単位時間 0 単位時間 1,750 単位時間 910 単位時間 0 単位時間 60 単位時間 60 単位時間						
実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(B:単位		うち企業等うち必修授	と連携した演習の授業時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し きと連携したインタ と連携した実験・実 と連携した演習の単	業時数 た必修の実験・ た必修の演習の ーンシップの打	・実習・実技 D授業時数 受業時数)	の授業時数		910 単位時間 0 単位時間 1,750 単位時間 910 単位時間 0 単位時間 60 単位時間						
実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(B:単位		うち企業等うち必修行のできる。	と連携した演習の授業時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し きと連携したインタ と連携した実験・実 と連携した演習の単	業時数 た必修の実験・ た必修の演習の 一ンシップの打 習・実技の単位 位数	・実習・実技 D授業時数 受業時数) 立数			910 単位時間 0 単位時間 1,750 単位時間 910 単位時間 0 単位時間 60 単位時間 60 単位時間 単位 単位						
実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(B:単位		うち企業等 うち必修授 (うち企業 うち企業等 うち企業等 うち必修単	と連携した演習の授業時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し 等と連携したインタ と連携した実験・実 と連携した演習の単 位数 うち企業等と連携し	業時数 た必修の実験で た必修の演習の ーンシップの打 習・実技の単位 位数	・実習・実技)授業時数 受業時数) 立数			910 単位時間 0 単位時間 1,750 単位時間 910 単位時間 0 単位時間 60 単位時間 0 単位 単位 単位 単位 単位 単位						
実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(B:単位		うち企業等 うち必修授 (うち企業 うち企業等 うち企業等	と連携した演習の授業時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し 等と連携したインタ と連携した実験・実 と連携した演習の単位数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し	業時数 た必修の実験でた必修の演習の ーンシップの対 では数 た必修の実験で た必修の実験で た必修の演習の	・実習・実技 D授業時数 受業時数) 立数 ・実習・実技			910 単位時間 0 単位時間 1,750 単位時間 910 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 60 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位						
実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(B:単位		うち企業等 うち必修授 (うち企業 うち企業等 うち企業等	と連携した演習の授業時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し 等と連携したインタ と連携した実験・実 と連携した演習の単 位数 うち企業等と連携し	業時数 た必修の実験でた必修の演習の ーンシップの対 では数 た必修の実験で た必修の実験で た必修の演習の	・実習・実技 D授業時数 受業時数) 立数 ・実習・実技			910 単位時間 0 単位時間 1,750 単位時間 910 単位時間 0 単位時間 60 単位時間 0 単位 単位 単位 単位 単位 単位						
実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(B:単位		うち企業等 うち必修授 (うち企業 うち企業等 うち企業等	と連携した演習の授業時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し 等と連携したインタ と連携した実験・実 と連携した演習の単位数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し	業時数 た必修の実験でた必修の演習の ーンシップの対 では数 た必修の実験で た必修の実験で た必修の演習の	・実習・実技 D授業時数 受業時数) 立数 ・実習・実技			910 単位時間 0 単位時間 1,750 単位時間 910 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 60 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位						
実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(B:単位	総単位数	うち企業等うち必修行の方を企業等である。	と連携した演習の授業時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携したインタ を連携した「実験・実 と連携した演習の単位数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し 等と連携したインタ	業時数 た必修の実験でた必修の演習の カンシップの対 では数 た必修の実験で た必修の実験で た必修の実験で た必修の実験で た必修の方習の	・実習・実技 D授業時数 受業時数) 立数 ・実習・実技			910 単位時間 0 単位時間 1,750 単位時間 910 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 60 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位						
実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(B:単位	総単位数 ① 専修学 その担当す	う((()(()((()()(()()()()()()()()()())()())())())())()))()) <t< td=""><td>と連携した演習の授業時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し 等と連携したインタ と連携した実験・実 と連携した演習の単位数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し</td><td>業時数 た必修の実験である。 た必修のの演習の対 では、 を必修ののでは、 を必修ののでは、 を必修ののでは、 を必修ののでは、 を必修のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、</td><td>・実習・実技 ⑦授業時数 受業時数) 立数 ・実習・実技 ②単位数)</td><td></td><td>第1号)</td><td>910 単位時間 0 単位時間 1,750 単位時間 910 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 60 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位</td><td></td></t<>	と連携した演習の授業時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し 等と連携したインタ と連携した実験・実 と連携した演習の単位数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し	業時数 た必修の実験である。 た必修のの演習の対 では、 を必修ののでは、 を必修ののでは、 を必修ののでは、 を必修ののでは、 を必修のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	・実習・実技 ⑦授業時数 受業時数) 立数 ・実習・実技 ②単位数)		第1号)	910 単位時間 0 単位時間 1,750 単位時間 910 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 60 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位						
実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(B:単位	総単位数 ① の ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	う(()((()(()(()(() <t< td=""><td>と連携した演習の授業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した 等と連携した実験・と連携した を連携した演習の単 うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した であまましたであります。 はでありまする。</td><td>業時数 た必修の実験である。 た必修のの演習の対 では、 を必修ののでは、 を必修ののでは、 を必修ののでは、 を必修ののでは、 を必修のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、</td><td>・実習・実技 ウ授業時数) 立数 ・実位数 ・関位数) (専修学権</td><td>の単位数 交設置基準第41条第1項</td><td></td><td>910 単位時間 0 単位時間 1,750 単位時間 910 単位時間 0 単位時間 60 単位時間 60 単位 単位 単位 単位 单位 单位 单位 单位 单位 单位 单位 单位 单位 十分 1 単位 中位 /td><td></td></t<>	と連携した演習の授業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した 等と連携した実験・と連携した を連携した演習の単 うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した であまましたであります。 はでありまする。	業時数 た必修の実験である。 た必修のの演習の対 では、 を必修ののでは、 を必修ののでは、 を必修ののでは、 を必修ののでは、 を必修のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	・実習・実技 ウ授業時数) 立数 ・実位数 ・関位数) (専修学権	の単位数 交設置基準第41条第1項		910 単位時間 0 単位時間 1,750 単位時間 910 単位時間 0 単位時間 60 単位時間 60 単位 単位 単位 単位 单位 单位 单位 单位 单位 单位 单位 单位 单位 十分 1 単位 中位						
実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)	(B:単位	総単位数 ① すの修当者年以上となる。 ② 学士の	ううううううううかかか <t< td=""><td>と連携した演習の授業時数 うち企業等と連携した うちと連携した実験の単した演習の単位からな業等とは大変を連携した。 を連携した演習の単位がある。 を連携したでありません。 は、でありますると連携したであります。 は、では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、</td><td>業時数 た必修の実験である。 た必修のの演習の対 では、 を必修ののでは、 を必修ののでは、 を必修ののでは、 を必修ののでは、 を必修のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、</td><td>・実習・実技 フ授業時数) 立数 ・実単位数) (専修学権</td><td>の単位数 交設置基準第41条第1項</td><td>第2号)</td><td>910 単位時間 0 単位時間 1,750 単位時間 910 単位時間 0 単位時間 60 単位時間 60 単位 単位 単位 単位 单位 /td><td></td></t<>	と連携した演習の授業時数 うち企業等と連携した うちと連携した実験の単した演習の単位からな業等とは大変を連携した。 を連携した演習の単位がある。 を連携したでありません。 は、でありますると連携したであります。 は、では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、	業時数 た必修の実験である。 た必修のの演習の対 では、 を必修ののでは、 を必修ののでは、 を必修ののでは、 を必修ののでは、 を必修のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	・実習・実技 フ授業時数) 立数 ・実単位数) (専修学権	の単位数 交設置基準第41条第1項	第2号)	910 単位時間 0 単位時間 1,750 単位時間 910 単位時間 0 単位時間 60 単位時間 60 単位 単位 単位 単位 单位						
実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)	(B:単位	総単位数 ① でのの修当業とでである。 ② では、一次では、1000年以上では、1000年以上では、1000年以上では、1000年以上では、1000年には、1000	ううう(定 ううう)(校る限る 学校る限る 学校を取る また できまた できまた できまた できまた できまた できまた できまた で	と連携した演習の授業時数 うち企業等と連携した うちを連携した を連携した実験の単した を連携した演習の単した を連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した である企業を修した後の間と は、これであります。 は、これであります。 は、これでもの間とをある。 は、これでものであります。 は、これでものであります。 は、これでものであります。 は、これでものであります。 は、これでものであります。 は、これでものでは、これであります。 は、これでものでは、これであります。 は、これでものでは、これであります。 は、これでものでは、これであります。 は、これでものでは、これであります。 は、これでものでは、これでものでは、これでものでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	業時数 た必修の実験である。 た必修のの演習の対 では、 を必修ののでは、 を必修ののでは、 を必修ののでは、 を必修ののでは、 を必修のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	・実習・実技 ご受業時数) ・実業の要素を ・変数である。 ・実質の数である。 ・実質の数である。 ・実質の数である。 ・実質の数である。 ・実質のである。 ・実質のである。 ・実質のである。 ・実質のである。 ・実質のである。 ・では、でき	の単位数	第2号)	910 単位時間 0 単位時間 1,750 単位時間 910 単位時間 0 単位時間 60 単位 単位 単位 単位 单位 单位 单位 单位 单位 单位 单位 单位 单位 中位						
実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)	(B:単位	総単位数 ① でのの修当業とでである。 ② では、一次では、1000年以上では、1000年以上では、1000年以上では、1000年以上では、1000年には、1000	ううううううううかかか <t< td=""><td>と連携した演習の授業時数 うち企業等と連携した うちを連携した を連携した実験の単した を連携した演習の単した を連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した である企業を修した後の間と は、これであります。 は、これであります。 は、これでもの間とをある。 は、これでものであります。 は、これでものであります。 は、これでものであります。 は、これでものであります。 は、これでものであります。 は、これでものでは、これであります。 は、これでものでは、これであります。 は、これでものでは、これであります。 は、これでものでは、これであります。 は、これでものでは、これであります。 は、これでものでは、これでものでは、これでものでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ</td><td>業時数 た必修の実験である。 た必修のの演習の対 では、 を必修ののでは、 を必修ののでは、 を必修ののでは、 を必修ののでは、 を必修のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、</td><td>・実習・実技 ご受業時数) ・実業の要素を ・変数である。 ・実質の数である。 ・実質の数である。 ・実質の数である。 ・実質の数である。 ・実質のである。 ・実質のである。 ・実質のである。 ・実質のである。 ・実質のである。 ・では、でき</td><td>の単位数 交設置基準第41条第1項</td><td>第2号)</td><td>910 単位時間 0 単位時間 1,750 単位時間 910 単位時間 0 単位時間 60 単位時間 60 単位 単位 単位 単位 单位 /td><td></td></t<>	と連携した演習の授業時数 うち企業等と連携した うちを連携した を連携した実験の単した を連携した演習の単した を連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した である企業を修した後の間と は、これであります。 は、これであります。 は、これでもの間とをある。 は、これでものであります。 は、これでものであります。 は、これでものであります。 は、これでものであります。 は、これでものであります。 は、これでものでは、これであります。 は、これでものでは、これであります。 は、これでものでは、これであります。 は、これでものでは、これであります。 は、これでものでは、これであります。 は、これでものでは、これでものでは、これでものでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	業時数 た必修の実験である。 た必修のの演習の対 では、 を必修ののでは、 を必修ののでは、 を必修ののでは、 を必修ののでは、 を必修のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	・実習・実技 ご受業時数) ・実業の要素を ・変数である。 ・実質の数である。 ・実質の数である。 ・実質の数である。 ・実質の数である。 ・実質のである。 ・実質のである。 ・実質のである。 ・実質のである。 ・実質のである。 ・では、でき	の単位数 交設置基準第41条第1項	第2号)	910 単位時間 0 単位時間 1,750 単位時間 910 単位時間 0 単位時間 60 単位時間 60 単位 単位 単位 単位 单位						
実習等の実施状況 (A、Bいずれかに記入) に記入) 教員の属性(専任 教員について記	(B:単位	総単位数 ① でのの修当業とでである。 ② では、一次では、1000年以上では、1000年以上では、1000年以上では、1000年以上では、1000年には、1000	ううう(定 う う)(校る限る 学 校 学 か)た 必 ち	と連携した演習の授業時数 うち企業等と連携した うちを連携した を連携した実験の単した を連携した演習の単した を連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した である企業を修した後の間と は、これであります。 は、これであります。 は、これでもの間とをある。 は、これでものであります。 は、これでものであります。 は、これでものであります。 は、これでものであります。 は、これでものであります。 は、これでものでは、これであります。 は、これでものでは、これであります。 は、これでものでは、これであります。 は、これでものでは、これであります。 は、これでものでは、これであります。 は、これでものでは、これでものでは、これでものでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	業時数 た必修の実験である。 た必修のの演習の対 では、 を必修ののでは、 を必修ののでは、 を必修ののでは、 を必修ののでは、 を必修のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	・実 (実) (実) (実) (ま) (の単位数	第2号) 第3号) 第4号)	910 単位時間 0 単位時間 1,750 単位時間 910 単位時間 0 単位時間 60 単位 単位 単位 単位 单位 单位 单位 单位 单位 单位 单位 单位 单位 中位						
実習等の実施状況 (A、Bいずれかに記入) に記入) 教員の属性(専任 教員について記	(B:単位	総単位数 ① のの以上 ② 高 修 会 ・ 会 ・ 会 ・ 会 ・ 会 ・ 会 ・ 会 ・ 会 ・	ううう(定 う う)(校る限る 学 校 学 か)た 必 ち	と連携した演習の授業時数 うち企業等と連携した うちを連携した を連携した実験の単した を連携した演習の単した を連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した である企業を修した後の間と は、これであります。 は、これであります。 は、これでもの間とをある。 は、これでものであります。 は、これでものであります。 は、これでものであります。 は、これでものであります。 は、これでものであります。 は、これでものでは、これであります。 は、これでものでは、これであります。 は、これでものでは、これであります。 は、これでものでは、これであります。 は、これでものでは、これであります。 は、これでものでは、これでものでは、これでものでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	業時数 た必修の実験である。 た必修のの演習の対 では、 を必修ののでは、 を必修ののでは、 を必修ののでは、 を必修ののでは、 を必修のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	・実 (実) (実) (実) (ま) (の単位数	第2号) 第3号) 第4号)	910 単位時間 0 単位時間 1,750 単位時間 910 単位時間 0 単位時間 60 単位 単位 単位 単位 単位 単位 1 単位 1 単位 1 単位 1 単位						
実習等の実施状況 (A、Bいずれかに記入) に記入) 教員の属性(専任 教員について記	(B:単位	総単位数 ① のの修上となる。 ② 高 修士の ② 高 修士の ② の の の の の の の の の の の の の の の の の の	ううう(定 う う)(校る限る 学 校 学 か)た 必 ち	と連携した演習の授業時数 うち企業等と連携した うちを連携した を連携した実験の単した を連携した演習の単した を連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した である企業を修した後の間と は、これであります。 は、これであります。 は、これでもの間とをある。 は、これでものであります。 は、これでものであります。 は、これでものであります。 は、これでものであります。 は、これでものであります。 は、これでものでは、これであります。 は、これでものでは、これであります。 は、これでものでは、これであります。 は、これでものでは、これであります。 は、これでものでは、これであります。 は、これでものでは、これでものでは、これでものでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	業時数 た必修の実験である。 た必修のの演習の対 では、 を必修ののでは、 を必修ののでは、 を必修ののでは、 を必修ののでは、 を必修のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	・実 (実) (実) (実) (ま) (の単位数	第2号) 第3号) 第4号)	910 単位時間 0 単位時間 1,750 単位時間 910 単位時間 0 単位時間 60 単位 単位 単位 単位 単位 单位 1 单位 1 单位 1 单位 1 单位 1						
実習等の実施状況 (A、Bいずれかに記入) に記入) 教員の属性(専任 教員について記	(B:単位	総単位数 ① のの以上 ② 高 修 会 ・ 会 ・ 会 ・ 会 ・ 会 ・ 会 ・ 会 ・ 会 ・	ううう(定 う う)(校る限る 学 校 学 か)た 必 ち	と連携した演習の授業時数 うち企業等と連携した うちを連携した を連携した実験の単した を連携した演習の単した を連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した である企業を修した後の間と は、これであります。 は、これであります。 は、これでもの間とをある。 は、これでものであります。 は、これでものであります。 は、これでものであります。 は、これでものであります。 は、これでものであります。 は、これでものでは、これであります。 は、これでものでは、これであります。 は、これでものでは、これであります。 は、これでものでは、これであります。 は、これでものでは、これであります。 は、これでものでは、これでものでは、これでものでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	業時数 た必修の実験である。 た必修のの演習の対 では、 を必修ののでは、 を必修ののでは、 を必修ののでは、 を必修ののでは、 を必修のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	・実 (実) (実) (実) (ま) (の単位数	第2号) 第3号) 第4号)	910 単位時間 0 単位時間 1,750 単位時間 910 単位時間 0 単位時間 60 単位 単位 単位 単位 単位 単位 1 単位 1 単位 1 単位 1 単位						
実習等の実施状況 (A、Bいずれかに記入) に記入) 教員の属性(専任 教員について記	(B:単位	総単位数 ① (1) ののの以 事担修上 学 高 修 その (1) 等す は で で で で で で で で で で で で で で で で で で	ううう(定 ううう)(校る限る 学 校 学 の教と者 位 教 位 の の教と者 位 教 位 の の教と者 位 教 位 の の の の の の の か と 者 に 当 に 第 に 第 に 第 に 第 に 第 に 第 に 第 に 第 に 第	と連携した演習の授業時数 うち企業等と連携した。 うちと連携した。 等と連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 をできる。 とできる。 とできる。 とできる。 とできる。 とできる。 とできる。 とできる。 とできる。 とできる。 とできる。 とできる。 とできる。 とでき。 とできる。 とでき。 とでも。 とでき。 とできる。 とでも、 をでき。 と。 とでき。 とで。 とで。 とでき。 とでを、 とでを、 とでを、 とでを、 とでを、 とでを、 とでを、 とでを、	業時数 ためのののののののののののののののののののののののののののののののののののの	・実 (実 接) で (で ま で で で で で で で で で で で で で で で で	の単位数	第2号) 第3号) 第4号) 第5号)	910 単位時間 0 単位時間 910 単位時間 0 単位時間 60 単位 単位 単位 単位 単位 单位						
実習等の実施状況 (A、Bいずれかに記入) に記入) 教員の属性(専任 教員について記	(B:単位	総単位数 ① (1) ののの以 事担修上 学 高 修 その (1) 等す は で で で で で で で で で で で で で で で で で で	ううう(定 ううう)(校る限る 学 校 学 の教と者 位 教 位 の の教と者 位 教 位 の の教と者 位 教 位 の の の の の の の か と 者 に 当 に 第 に 第 に 第 に 第 に 第 に 第 に 第 に 第 に 第	と連携した演習の授業時数 うち企業等と連携した うちを連携したと連携した。 等と連携したと連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 を連携した。 できる企業等をした。 でもしたでありました。 でもしたでありました。 でも、 でも、 でも、 でも、 でも、 でも、 でも、 でも、 でも、 でも、	業時数 ためのののののののののののののののののののののののののののののののののののの	・実 (実 接) で (で ま で で で で で で で で で で で で で で で で	の単位数	第2号) 第3号) 第4号) 第5号)	910 単位時間 0 単位時間 1,750 単位時間 910 単位時間 0 単位時間 60 単位 単位 単位 単位 単位 単位 1 単位 1 単位 1 単位 1 単位						

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本 方針

調理師養成施設として食を担う人材を育成することはもとより本科が目指す調理師免許付与以上に調理分野における実務に関する知識、技術及び技能並びに経営実務に係る技術及び技能について組織的な教育を行うためには、県内のホテル・レストラン等の飲食店をはじめとした調理分野の就業場所となる様々な企業等と連携を図っていくことが重要であるという方針に基づき、実践的かつ専門的な就業教育に取り組んでいる。

- (2)教育課程編成委員会等の位置付け
- ※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

組織運営規定に於いて教育課程編成員会は「教育課程の編成にあたっては、企業等の要請を十分に活かし、実践的かつ専門的な職業教育を実施するにふさわしい教育課程の編成に務めなければならない。」と定めており、組織図の中でも教育課程編成員会を位置付けている。その意思決定については、校長が委員を招集し、委員会を実施する課程を経て得られた意見を教育課程の編成に活かすよう工夫し、取り組んでいる。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年11月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
石川 正剛	専門学校 大育 副校長	令和5年12月1日~令和7年11 月30日(2年)	_
鎌田 裕之	調理本科 学科長	令和5年12月1日~令和7年11 月30日(2年)	_
石原 昌明	沖縄県日本調理技能士協会会長	令和5年12月1日~令和7年11 月30日(2年)	1
上原 隆	株式会社ロワジール・ホテルズ沖縄調理部	令和5年12月1日~令和7年11 月30日(2年)	3
古堅 憲正	ホテル日航アリビラ 料理長	令和5年12月1日~令和7年11 月30日(2年)	3
有銘 博之	有銘会計事務所 公認会計士	令和5年12月1日~令和7年11 月30日(2年)	2

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。

- (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。)
 - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
 - ②学会や学術機関等の有識者
 - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (7月、11月)

(開催日時(実績))

第1回 令和6年 8月 9日 16:00~17:00 第2回 令和6年11月29日 16:00~17:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

各種行事を積極的に行い、外部との関わりを積極的に持つべきとの意見から、学園祭の開催や卒業ブッフェ等、日頃学んだ内容を実践することを取り入れた。専任教員のみならず、外部講師にもご指導いただき、実際の現場のような体験を行うことができ、また学生の保護者や地域の方々にも学校を知ってもらい良い機会となった。

- 2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係
- (1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

県内ホテル・レストラン等の調理場を体験することで、調理師としての任務と役割を理解し、国家資格取得後の職業選択のビジョンを固めていく。また、作業同線の重要性や、組織として調理場と飲料サービスの連携等、現場で学ぶべき項目を意識して修得していくよう、事前事後の校内実習で反芻していく。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

本校では調理実習に県内ホテルより講師の派遣を依頼し、校内にて調理実習を行っている。実習科目については中国料理、西洋料理、日本料理、琉球料理となっており、それぞれの専門調理師の講師が実習を行っている。また、調理実習の一環として、企業へのインターンシップを実施している。期間は8月の2週間とし、本科1年及び2年が県内ホテルやレストラン等へ出向いて、実習を行っている。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科 目 名	企業連携の方法	科目概要	連携企業等
調理実習	の講師が全ての授業	沖縄県内のホテルやレストランの 調理師、料理長を招聘し、実習の 指導を行っている。	株式会社かりゆしグループ、ホテル
総合調理実習		沖縄県内のホテルやレストランの 調理師、料理長を招聘し、実習の 指導を行っている。	株式会社かりゆしグループ、ホテル
校外実習	3. 【校外】企業内実習 (4に該当するものを 除く。)	沖縄県内のホテルやレストランの 調理部門にて企業実習を実施。現 場での職業人としての姿勢や実 践、衛生管理等を学ぶ。	県内ホテル・レストラン等

3.「企業等と	≤連携して、教員に対し、専攻分野に	おける実務に関する研修を組織的に	こ行っていること。」関係
※研修等を教員	¥の教員に対する研修・研究(以下「₹ 員に受講させることについて諸規程に定めら 「の人材育成を目的として、全国調理	れていることを明記	技術研修を行ってる。
(2)研修等 <i>0</i> ①専攻分野I)実績 こおける実務に関する研修等		
研修名:	全調協九州地区教員研修会	連	携企業等:全国調理師養成施設協会
期間:	令和6年8月7、8日		対象:養成施設の設置者・教職員
内容	調理師学校教員などによる研究発表に加え、講	清演、パネルディスカッション、調理技術デモンス	トレーション、衛生管理教育研修会など
研修名:		0 連	携企業等: 0
期間:		0	対象:
内容	0		
研修名:		0 連	携企業等:
期間:		0	対象: 0
内容			
②指導力の位	修得・向上のための研修等		
研修名:	一般教職員研修会	連	摆企業等 :沖縄県専修学校各種学校協会
期間:		45429	対象: 学校運営者、管理者、一般教員
内容	発達障害の理解と特性に応じた関	わり方について~全体対応から個別	対応まで~
研修名:		0 連	携企業等: 0
期間:		0	対象: 0
内容	0		

 研修名:
 0
 連携企業等: 0

 期間:
 0
 対象: 0

内容 0

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 調理技術教育学会 連携企業等: 調理技術教育学会

期間: 毎年8月 対象:養成施設の設置者・教職員

内容 調理師学校教員などによる研究発表に加え、講演、パネルディスカッション、調理技術デモンストレーション、衛生管理教育研修会など

研修名: 一般公開研修 連携企業等: 全国調理師養成施設協会

期間: 毎年11月頃 対象:養成施設の設置者・教職員

内容 調理師養成施設の設置者・教職員に対する調理技術、指導、その他専門知識を習得させる。

②指導力の修得・向上のための研修等

一般教職員研修会 連携企業等:沖縄県専修学校各種学校協会 研修名:

対象: 字校連宮右、官埋右、 期間: 毎年5月頃

一般教員

内容 沖専各協会加盟校教職員の資質の向上を図る。

学校運営者•管理者研修会 連携企業等:沖縄県専修学校各種学校協会 研修名:

毎年12月頃 対象: 学校運営者、管理者 期間:

内容 沖専各協会加盟校教職員の資質の向上を図る。

0 連携企業等: 0 研修名:

0 期間: 対象: 0

内容

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。 また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

別添資料「職員研修等に係る規定」で定めているように、本校は研修を種別にし、該当する職員に対し計画的に研修を実 施している。本科においては、調理師という職業に関する知識や、技術及び技能並びに、授業及び生徒に対する指導力等 の修得・向上のための研修を計画し、実施している。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	校訓・教育方針・教育目標
(2)学校運営	指導方針
(3)教育活動	沿革
(4)学修成果	取得可能な資格、就職実績
(5)学生支援	奨学金制度(募集要項)
(6)教育環境	各学校紹介
(7)学生の受入れ募集	定員数
(8)財務	財務諸表
(9)法令等の遵守	公管庁報告
(10)社会貢献・地域貢献	
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

学校運営については、授業・実習・学校行事等の実施を積極的に行い、更なる生徒の技術向上、知識習得する環境を充 実させることはもちろん、地域社会との連携をより多く持つことの重要性について意見があった。この意見を受け、今後も授 業、実習や学校行事等の実施を積極的に行っていく。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
新垣 誠	医療法人誠愛会 理事長	令和5年12月1日~令和7年11 月30日(2年)	企業等委 員
東 哲世	オリオン歯科 院長	月30日(2年)	企業等委 員
石川 幸子	元沖縄県理容生活同業組合会長	令和5年12月1日~令和7年11 月30日(2年)	業界団体 委員
豊村 英	社会福祉法人ニライカナイ 事務局長	月30日(2年)	企業等委 員
照屋 修二	沖縄税理士会	令和5年12月1日~令和7年11 月30日(2年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: https://www.daiiku.ac.jp/about/

公表時期: 令和7年7月

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本科における実践的かつ専門的な職業教育を組織的に行うためには、企業等の学校関係者との連携が必要である。したがって、学校運営に関する取り組み、特に企業等が行った特別講義や各種コンクールの様子などは随時ホームページで公開しており、学校関係者が閲覧できる体制を整えている。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校が設定する項目
(2)各学科等の教育	校訓・教育方針・教育目標
(3)教職員	指導方針
(4)キャリア教育・実践的職業教育	教職員
(5)様々な教育活動・教育環境	キャリア教育への取り組み
(6)学生の生活支援	学校紹介、海外研修旅行
(7)学生納付金・修学支援	募集要項
(8)学校の財務	財務諸表
(9)学校評価	学校関係者評価、自己評価
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

))

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ)・ 広報誌等の刊行物 ・ その他(

URL: https://www.daiiku.ac.jp/about/

公表時期: 令和7年7月

授業科目等の概要

	#RE	F!														
		分類	Į						授	業プ	方法	場	所	教	員	
	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期		単位数	講	演習	実験・実習・実技		校外			企業等との連携
1	0			衛生法規	調理における各種法規を理解し遵守することの大切 さを学ぶ。特に食品衛生法規など実習に関連付けな あら具体的に習得する。	1 前	35	1	0			0		0		
2	0			公衆衛生学	公衆衛生が、住民の疾病予防と健康保持の方法及び 我が国の公衆衛生の発展過程とともに、諸外国の発 展過程やその国際組織について学ぶ。		70	2	0			0			0	
3	0			栄養学	食品中の栄養素などについて学び、健康や病気と関連において栄養素が体の中でどのように作用するのかを理解を促す。また栄養の営みの過程となる消化、吸収、輸送、排せつなどを含み学習する。	1	70	2	0			0		0		
4	0			栄養学	食品中の栄養素などについて学び、健康や病気と関連において栄養素が体の中でどのように作用するのかを理解を促す。また栄養の営みの過程となる消化、吸収、輸送、排せつなどを含み学習する。	2	35	1	0			0		0		
5	0			食品学	人体にとっての食と、食の主体となる食品における 価値を学ぶ。	1 後	35	1	0			0		0		
6	0			食品学	人体にとっての食と、食の主体となる食品における 価値を学ぶ。	2 後	35	1	0			0		0		
7	0			食品衛生学	食品衛生の課題や調理従事者の責務について、発生 原因、経路や種類などを学び従事者の衛生管理、法 的規制を理解する。		70	2	0			0			0	
8	0			食品衛生学	食品衛生の課題や調理従事者の責務について、発生 原因、経路や種類などを学び従事者の衛生管理、法 的規制を理解する。		70	2	0			0			0	
9	0			食品衛生実習	食品衛生学で学んだ事項についてに実験や鮮度判定 を行うことにより、食品衛生を身近に感じ、衛生管 理の重要性を再確認させる。		35	1			0	0			0	
10	0			調理理論	調理の技術の科学的根拠を学ぶことで、理論に裏付けされた秘術の工夫と応用が可能となるよう学ぶ。また、調理施設・施設等の使用上の特徴と関連性について理解を深める。	1	35	1	0			0		0		
11	0			調理理論	調理の技術の科学的根拠を学ぶことで、理論に裏付けされた秘術の工夫と応用が可能となるよう学ぶ。 また、調理施設・施設等の使用上の特徴と関連性に ついて理解を深める。	2	140	4	0			0		0		

12	0			食文化概論	食文化を学ぶことで、調理師が調理という行為を通じて食文化の敬称という役割を果たしていることを理解し、社会における使命感を養う。		35	1	0			0		0		
13	0			食文化概論	食文化を学ぶことで、調理師が調理という行為を通 じて食文化の敬称という役割を果たしていることを 理解し、社会における使命感を養う。		35	1	0			0		0		
14	0			調理実習	日本料理・西洋料理・中華料理・エスニック料理についての基本から代表的な調理例について実習について習得していく。(他、集団調理・治療食・接客サービス等を含む。)	1	280	8			0	0	Δ	0	Δ	0
15	0			調理実習	日本料理・西洋料理・中華料理・エスニック料理についての基本から代表的な調理例について実習について習得していく。(他、集団調理・治療食・接客サービス等を含む。)	2	280	8			0	0	△	0	\triangleleft	0
16	0			総合調理 技術実習	日本料理・西洋料理・中華料理等の洋式ごとの調理 法、献立、接客サービスなどを実習にて習得してい く。		70	2			0	0	△	0	\triangleleft	0
17	0			総合調理 技術実習	日本料理・西洋料理・中華料理等の洋式ごとの調理 法、献立、接客サービスなどを実習にて習得してい く。		70	2			0	0	4	0	\triangleleft	0
18		0		高度調理 技術実習	飲食店の業態や給食施設の種別に応じた、高度な調理技術を習得するとともに実践を通して、顧客や対象者のニーズに合わせたサービスを習得する。		210	6	Δ		0	0		0		0
19		0		サービス論	レストランにおける飲料サービスについて、意義・ 形式・サービス手法について学んでいく。	1 通	70	2	0		4	0		0	4	
20		0		外国語	調理師になるための中国語・英語会話能力の習得、 外国における食材・理法等の読解力を養う。	1 前	35	1	0			0			0	
21		0		パソコン演習	パソコンソフトを用いて、表計算、文書処理の技法 を演習する。	後	35	1		0		0		0		
			合	計 	21	禾	扫				50	単位	立 (単位	時間	引)

卒業要件及び履修方法	授業期間等	<u>r</u> F
卒業要件: 所定の課程を修了したものに卒業を認める。	1 学年の学期区分	2 期
履修方法:所定の課程に沿って履修を行う。	1 学期の授業期間	18 週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合 については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。